

医療的ケア児の実態調査について

1 調査の概要

趣旨	効果的な施策を検討するための基礎資料とすることを目的に、札幌市内の医療的ケア児の保護者の支援ニーズや課題を把握する。
対象者	札幌市に在住する児童（満 18 歳に満たない者）のうち、医療的ケアを行っている者の保護者等
調査項目	調査票（別紙）のとおり。
方法	<p>(1) 関係機関を通じた調査票の配布</p> <p>医療的ケア児が利用等をしている次の関係機関に協力を依頼し、対象者に調査票（札幌市宛ての返信用封筒を同封）を配布いただく。</p> <p>ア 病院・クリニック、訪問看護ステーション</p> <p>イ 障害児通所支援事業所、保育所等、幼稚園、学校</p> <p>ウ 当事者団体</p> <p>(2) ウェブページ上での調査票の掲載</p> <p>札幌市医療的ケア児支援検討会のウェブページに調査票を掲載し、上記(1)の方法で調査票を入手できなかった方でも、回答できるようにする（回答はファックス等を想定）。</p>
調査期間	平成 30 年 12 月 3 日（月）から平成 31 年 1 月 31 日（木）まで

2 送付先及び送付枚数

機関種別	機関数（※1）	送付枚数
病院・クリニック	20	550
訪問看護ステーション	10	150
障害児通所支援事業所	20	200
保育所等	4	4
幼稚園	2	2
学校	15	60
当事者団体	2	70
合計	73	1036（※2）

※1 アンケートや聞き取りによる把握、検討会委員からの情報提供などによる。

※2 他機関と併用して通っている場合などがあることから、札幌市における医療的ケア児の推計値（250～300人）とは一致しない

3 今後のスケジュール

時期	内容
平成 30 年 12 月から平成 31 年 1 月まで	調査実施・集計
平成 31 年 2 月	集計・分析
平成 31 年 3 月（予定）	第 5 回検討会で報告

4 実態調査に係る検討会委員からの意見（第 3 回会議の意見）

発言者	内容
加藤委員	保護者の生活実態に焦点が絞られる可能性があると考えており、それも大切で知りたいところではあるが、遊びや経験といった子ども目線の回答・結果が出てくると良い。
	訪問看護ステーションにも調査協力をお願いしたい。
射場委員	母さんの気持ちという部分で、子育てを嬉しい、楽しいと思うことや、このような支援を受けていて良かったこと、また、支援を受けて子どもとの関わりがこう変化したという部分を、調査項目に入れて欲しい。